

水産食料品製造業における荷姿の物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	10~11	当事業所敷地内において、パレットの片付整理時に1枚のパレットを後ろ向きに引きずって、2段ほど重ねてあるパレットの上に重ねようとしたところ、目測を誤り重ねてあるパレットの穴に片足がはまってしまい、そのまま後ろ向きに倒れ込み、抱えていたパレットに挟まれて負傷した。	47	30 ~ 49
2	9~10	被災者は鯉の切り身を並べた金属製パレット（8段積）を台車に乗せて工場内を移動する際、荷崩れを起こしたパレットを支えようとして左手小指をパレットの間に挟み負傷した。被災者は通常同作業の際に使用する通路を使用せず、若干段差がある通路を勢いをつけ急角度で台車を引っ張ったため荷崩れを起こした。	63	10 ~ 29
3	8~9	屋内作業所で空パンを台にタンクを斜めにして洗浄していたところ、空パンがずれて右足の甲にタンクが落ちた。痛みがあるが仕事を継続したところ、翌日に腫れ・痛み・変色が見られ、小指骨折だと分かった。	73	100 ~ 299
4	9~10	工場加工室において、わかめの水戻し作業中、水戻し水槽（W240cm×D70cm×H80cm）から丸ザル（Φ55cm×H18cm）に入った水戻し済みの若布（約8~12kg）を約1m後方のローラー台（H70cm×D45cm）へ移動する際、腰に痛みを感じ、腰椎圧迫骨折を負った。	67	30 ~ 49
5	14~15	当社工場内において、製品原料のタコが入ったカゴ（縦50cm、横62cm、高さ30cm、重さ30kg前後）を2人で持ち上げた瞬間、ボキッとした音とともに両肩に痛みを感じた。	74	10 ~ 29
6	7~8	工場内の水槽の前にて、水を抜いた水槽内から、豆の入った籠を持ち上げ作業中、腰に痛みがはした。	28	10 ~

				29
6	9~ 10	ツナ缶詰製造場において、原料が入っているコンテナを両手で運んでいた際、下りの段差がある所を降りようとして、横に設置してあるホースに躓いて転倒してしまい、左膝を強打した。	66	100 ~ 299
6	11~ 12	工場内の作業台の上でドライアイスの原料を並べた時、ドライアイスとドライアイスに挟まり、左手薬指を負傷した。	47	30 ~ 49
7	15~16	本社工場内、商品保管用の冷蔵室内において、真空包装が済んだ笹かまぼこが入っているプラスチック製折りたたみ式コンテナ（オリコン）を、同僚と2人で積み上げる作業を行っていた。身長よりも高い位置に積もうとした際に、同僚女性の方が小柄であったことから、乗せるタイミングがあわず、同僚のほうが先にオリコンから手が離れてしまったために、オリコンの間に被災者の左手の中指と薬指が挟まってしまった。	54	30 ~ 49
7	13~14	自社の積み荷場で、パレット積みしてある製品を、トラックにパレットごと積んだ時に、トラックの扉が閉まらなかったので通常はリフトで積みなおすところを、今回は素手でパレットを押そうとしたところ、手が滑ってトラックの荷台とパレットの間に手を挟み負傷した。	43	10 ~ 29
7	9~ 10	開梱室において荷物の積み替え中に台車との間に右手指先を挟んだ。右手中指骨折、人差し指、薬指を打撲した。	47	100 ~ 299
9	9~ 10	本社工場の1階で冷凍した鮭をダンボールに詰めている時にダンボールに詰める前の鮭が滑って落ち左足の甲にぶつかった。	62	50 ~ 99
11	13~ 14	他社のパレットに入っている冷凍イカを自社のパレットに積み替える作業をしていた時、冷凍イカを置く際に左手を抜く前に誤ってイカを置いてしまった為、イカとイカの間指を挟んで負傷した。	25	50 ~ 99
	13~	作業場構内にて歩行移動中、左膝をコンテナに当てバランスを崩し右膝を地面に強		50

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html